資料１

決済事務の効率化に向けた金融 EDI の利活用について

平成29年10月24日

一般社団法人
全国銀行協会

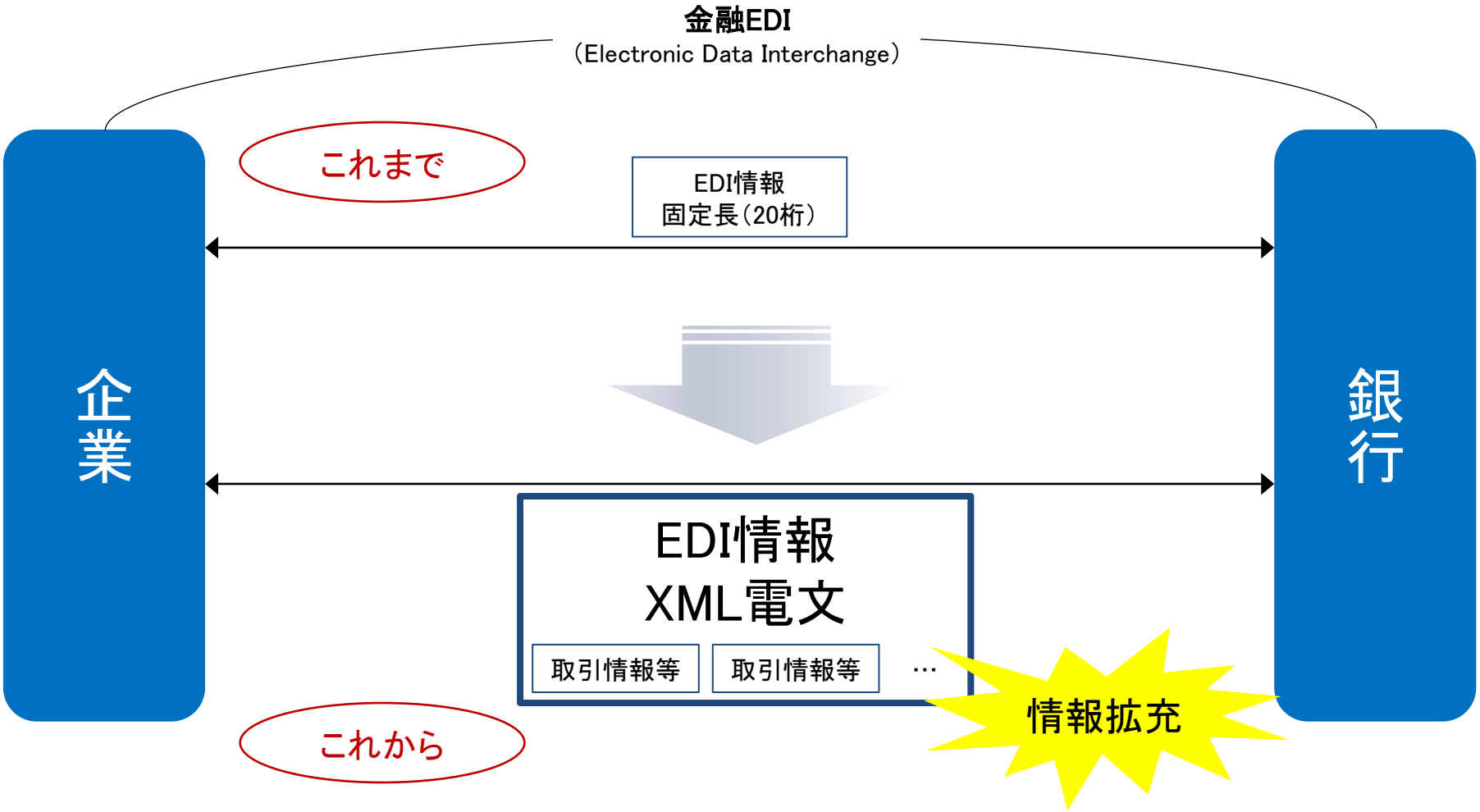
目　次

1. はじめに　～ 全銀協の取組み ～
2. 金融EDIに係る議論の経緯
3. 全銀EDIシステムの構築と概要
4. 金融EDI活用による生産性向上
5. 金融EDI活用のさらなる可能性
6. おわりに　～ XML電文への一斉移行に向けて ～

© 2017 JAPANESE BANKERS ASSOCIATION

１．はじめに
～ 全銀協の取組み ～

1．はじめに　（1/2）



© 2017 JAPANESE BANKERS ASSOCIATION

1．はじめに　（2/2）

メリット

支払企業側	受取企業側
受取企業側からの入金照合に関する問合せ対応の削減	売掛金の消込作業の効率化

企業のバックオフィス業務の効率化、生産性向上！

消込作業等に従事していた人的リソース等を営業活動等、他業務へシフトすることが可能に

電子領収書としての活用、金融機関による新たなソリューションの提供

© 2017 JAPANESE BANKERS ASSOCIATION

２．金融EDIに係る議論の経緯

© 2017 JAPANESE BANKERS ASSOCIATION

2-1. 金融EDIに係る議論の経緯

商流/金流
個別検討

金融界での議論／産業界での議論

2015年12月　金融審議会「決済業務等の高度化に関するワーキング・グループ報告」

協働・連携

官民連携した議論／共同実証実験の実施
標準化に向けた検討加速

2016年6月　日本再興戦略2016

2017年6月　未来投資戦略2017

革新

「XML電文への移行に関する検討会」の設置
→ 全銀EDIシステムの構築

© 2017 JAPANESE BANKERS ASSOCIATION

３．全銀EDIシステムの構築と概要

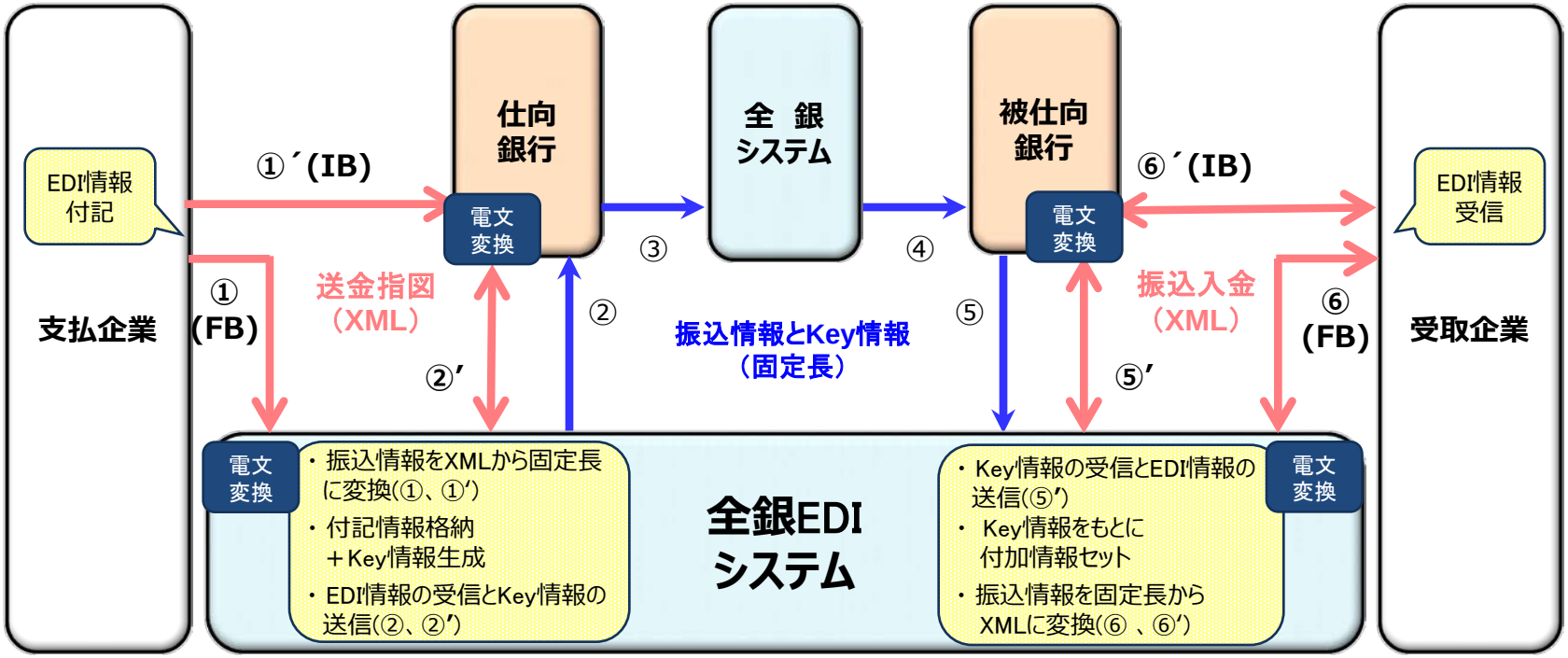
© 2017 JAPANESE BANKERS ASSOCIATION

3-1．全銀EDIシステムの概要（実現方式）

わが国における企業間送金に係る総合振込等の電文をXML電文に移行し、金融EDIの高度化に向けた取組みを進めていくため、全銀EDIシステムをプラットフォームとして新たに構築。

全銀EDIシステムのイメージ図

【2018年12月稼働予定】



・全銀EDIシステムはプラットフォームであるため、FB、IBサービスの申込対応等は、各金融機関で実施。

© 2017 JAPANESE BANKERS ASSOCIATION

3-2. XML電文への移行対象となるサービスおよびチャネル

区分	サービス（種別）	チャネル		システム稼動時のスコープ
支払企業	総合振込 ※1	一括ファイル伝送（FB）	個別金融機関接続	◎
			共同センタ経由　※2	対象外
		媒体（MT等）		対象外
		インターネットバンキング（IB）	ファイルアップロード	◎
			画面入力	対象外
		FAX振込サービス、テレフォンバンキング、ATM、窓口等		対象外
受取企業	振込入金通知 入出金取引明細 ※1	一括ファイル伝送（FB）	個別金融機関接続	◎
			共同センタ経由　※2	対象外
		媒体（MT等）		対象外
		インターネットバンキング（IB）	ファイルダウンロード	◎

※1　給与振込・賞与振込・口座振替（結果照会）等は、XML電文移行の対象外となります。これまでどおり、既存の固定長送金指図ルートでの取引となります。
※2　共同センタとは、複数金融機関向けのデータを一括処理可能とするマルチバンク対応の共同センタ（共同CMS＜都銀等＞／CNS＜地銀＞／ SDS＜第二地銀＞）を指す。

© 2017 JAPANESE BANKERS ASSOCIATION

3-3. 金融EDI情報として格納すべき商流情報（経済産業省・中小企業庁）

管理上利用する項目
業界区分
データ区分

最低限必要な項目
支払通知番号 ※1
支払通知発行日 ※1
請求書番号 ※2
支払人企業法人コード ※3

IT化推進による事務合理化に必要と思われる項目
受取人企業法人コード
請求先企業名
請求先企業法人コード
支払金額（明細）
税額
税区分
税率

利用可能とすべき項目	
支払番号	製品名
受取人企業連絡先電話番号	支払内容
支払人企業連絡先電話番号	契約名
請求先連絡担当者	締日
請求先連絡先部門	入金予定日
請求先電話番号	納品伝票番号
行番号	請求書発行日
発注番号	金額相殺理由コード
受注番号	相殺金額
単価	受取人企業名 ※4
数量	支払人企業名 ※4
納入番号	支払合計金額 ※4
納入日時	支払日時 ※4
製品コード	

※1：支払対象債務・支払日・支払金額・支払方法（振込か電債か）を通知する文書に付すもの。
該当する文書が存在しない場合は記載せず、金融機関側で自動付番（振込みの際に使われている既存の受付番号等を利用）。
※2：請求書（ないしそれに類する書類）を発行していない場合は記載不要。
※3：法人マイナンバーを持たない事業者（個人事業主等）については記載不要。
※4：XML電文移行対象取引（予定）に、既に代替可能と思われる項目が存在するため、EDI情報欄への記載不要との整理が可能と考えられる項目。

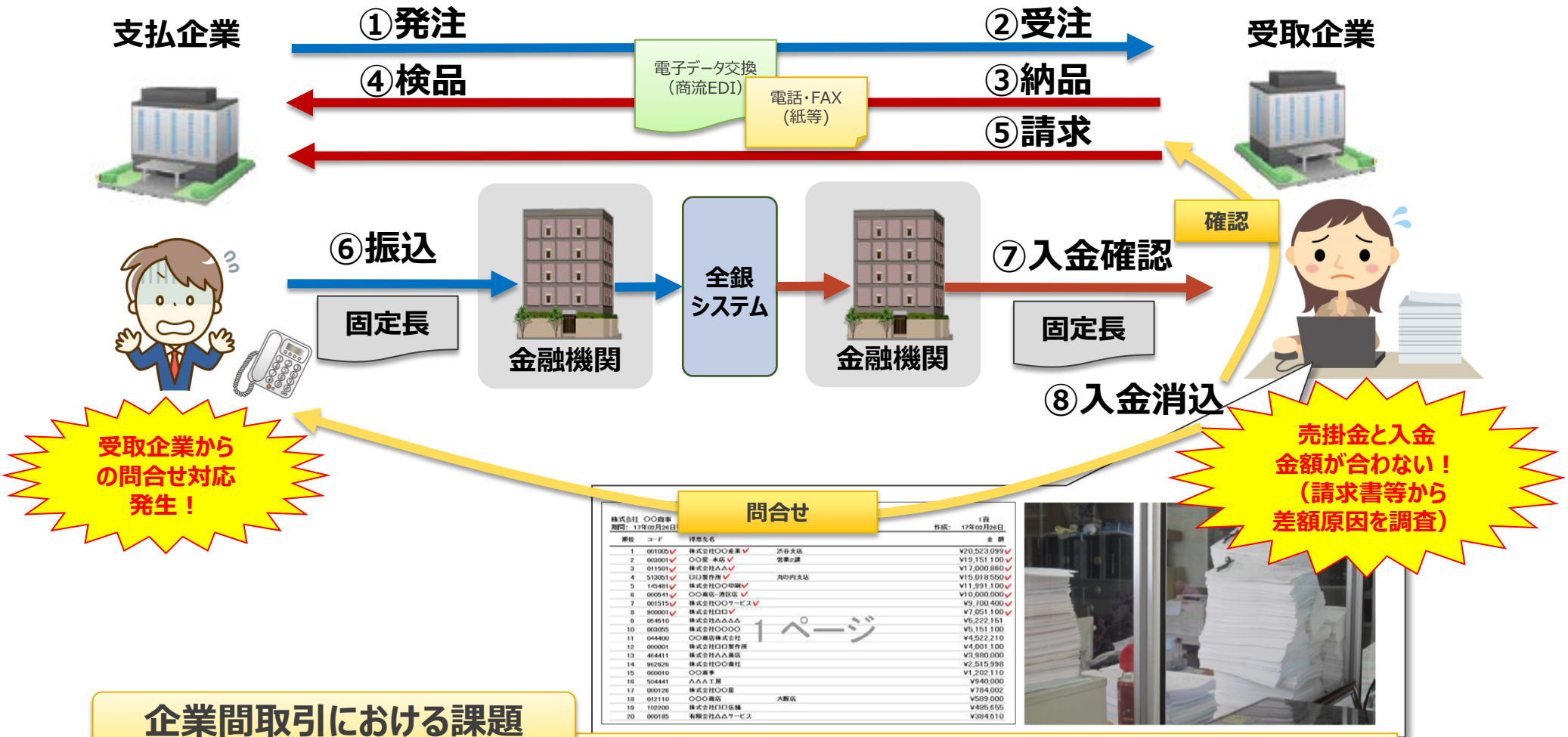
【出所】中小企業庁研究会 金融EDIにおける商流情報等のあり方検討会議「金融EDI情報として格納すべき商流情報の整理について（平成28年12月22日）」

© 2017 JAPANESE BANKERS ASSOCIATION

4. 金融EDI活用による生産性向上

© 2017 JAPANESE BANKERS ASSOCIATION

4-1．売掛金等の入金消込の現状と課題



企業間取引における課題

売掛金の入金消込に膨大な時間とコストがかかっている

© 2017 JAPANESE BANKERS ASSOCIATION

4-2. 入金消込の現状

受取企業は、入出金取引明細内の特定項目を元に、売掛債権に対して入金消込を実施されているものの、情報の不足等により、自動入金消込ができていない現状

照合

例）取得した入出金取引明細（2件）

データ区分	照会番号	勘定日	入払区分	取引区分	取引金額	振込依頼人名	仕向銀行名	仕向支店名	EDI情報
2	1	290825	1	11	000067427880	ﾏﾙﾏﾙｻﾝｷﾞﾖｳ(カ	ﾐｶﾝﾊﾞﾝｸ	ﾊﾟｷﾗ	
2	2	290825	1	11	000021431950	ﾏﾙﾏﾙｸﾞﾙｰﾌﾟ(カ	ｽｲｶﾊﾞﾝｸ	ｱｶﾞﾍﾞ	

売掛債権一覧

取引先名： ○○産業株式会社 ▼　検収日： ～ 検索

<< ページ: 1 >>　1～15 / 15件中

取引先	請求日	入金期日	請求番号	注文番号	品名コード	品目名	単価	数量	金額
○○産業株式会社	2017/8/1	2017/8/21	INV-17AUG-00[illegible]	ORD-17JUL-10001	3100-0444	1LAS	¥15,000	10	¥162,000
○○産業株式会社	2017/8/1	2017/8/21	[illegible]	[illegible]10002	1001-0001	[illegible]	[illegible]	8	¥3,455,827
○○産業株式会社	2017/8/1	2017/8/21	[illegible]	[illegible]003	5000-990[illegible]	[illegible]	[illegible]	[illegible]	¥492,480
○○産業株式会社	2017/8/1	2017/8/[illegible]	[illegible]	[illegible]04	3100-0[illegible]	[illegible]	[illegible]	[illegible]	¥162,000
○○産業株式会社	2017/8/1	2017/8/[illegible]	[illegible]	[illegible]5	1001-00[illegible]	[illegible]	[illegible]	[illegible]	¥13,823,309
○○産業株式会社	2017/8/1	2017/8/21	[illegible]	[illegible]-20006	5000-9900	CTG[illegible]	[illegible]	100	¥492,480
○○産業株式会社	2017/8/1	2017/8/21	INV-17AU[illegible]	[illegible]JUL-30007	3100-0444	1LAS	¥15,000	10	¥162,000
○○産業株式会社	2017/8/1	2017/8/21	INV-17AUG-0001	ORD-17JUL-30008	1001-0001	B6ZKSD-1	¥399,980	4	¥1,727,914
○○産業株式会社	2017/8/1	2017/8/21	INV-17AUG-0001	ORD-17JUL-30009	5000-9900	CTGPP	¥4,560	100	¥492,480
○○産業株式会社	[illegible]	[illegible]22	INV-17AUG-0002	ORD-17JUL-40010	3100-0444	1LAS	¥15,000	10	¥162,000
○○産業株式[illegible]	[illegible]	[illegible]	INV-17AUG-0002	ORD-17JUL-40011	1001-0001	B6ZKSD-1	¥399,980	120	¥51,837,408
○○産業[illegible]	[illegible]	[illegible]	[illegible]17AUG-0002	ORD-17JUL-40012	5000-9999	CTGPP-X	¥1,054,000	2	¥2,276,640
○○産業[illegible]	[illegible]	[illegible]	[illegible]17AUG-0002	ORD-17JUL-50013	3100-0444	1LAS	¥15,000	10	¥162,000
○○産業株[illegible]	[illegible]	[illegible]	INV-17AUG-0002	ORD-17JUL-50014	1001-0001	B6ZKSD-1	¥399,980	30	¥12,959,352
○○産業株式[illegible]	[illegible]	[illegible]	INV-17AUG-0002	ORD-17JUL-50015	5000-9900	CTGPP	¥4,560	100	¥492,480

<< ページ: 1 >>　1～15 / 15件中

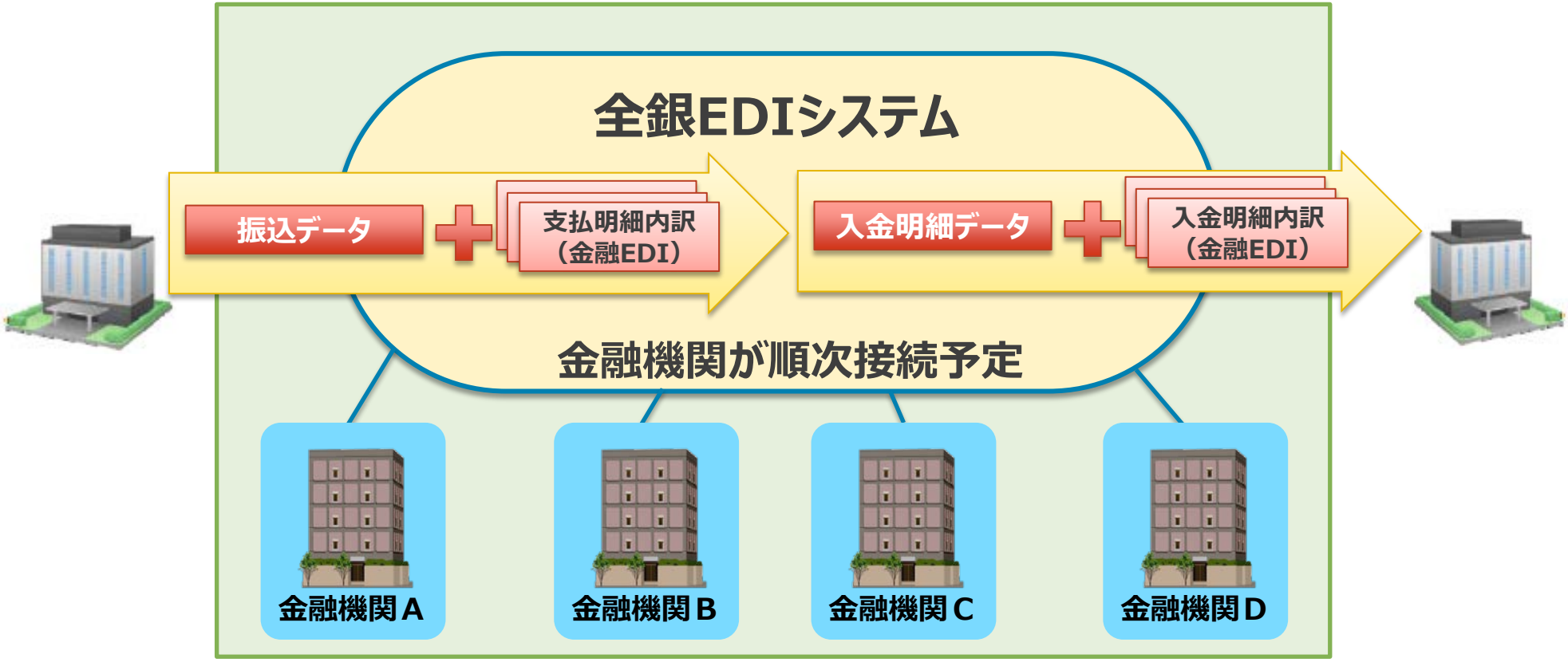
勘定日と入金期日相違によりミスマッチが発生！

合算払いのため合計金額が合わない！

代行会社からの支払により振込依頼人名が合わない！

© 2017 JAPANESE BANKERS ASSOCIATION

4-3．全銀EDIシステムの整備



振込や入金明細データに内訳情報（金融EDI）を添付して交換可能

© 2017 JAPANESE BANKERS ASSOCIATION

4-4．現行フォーマットとXMLフォーマット

現行フォーマットのイメージ

総合振込レコードフォーマット　データ・レコード（計120桁、ウチEDI情報20桁）

ﾃﾞｰﾀ区分（1桁）	銀行番号（4桁）	被仕向銀行名（15桁）	支店番号（3桁）	被仕向支店名（15桁）	手形交換所（4桁）	預金種目（1桁）	口座番号（7桁）	受取人名（30桁）
2	0123	XXXXｷﾞﾝｺｳ	123	XXXXXXXXX	4567	1	1234567	XXXXXXXXX

振込金額（10桁）	新規ｺｰﾄﾞ（1桁）	EDI情報（20桁、固定長）	指定区分（1桁）	識別表示（1桁）	ダミー（7桁）
001000000	1	012345ABCDEFGｱｲｳｴｵｶｷ	7	Y	

現行フォーマットの特徴・課題

現行の全銀協制定のレコードフォーマットは固定長であり、項目毎に桁数（固定）が定められている。

現行フォーマットの「EDI情報欄(20桁)」は、20桁では足りない※等の理由により、あまり利用されていないのが実態。

※支払通知番号や請求書番号、日付など消込みに必要な情報が桁数不足で格納できない。

XMLフォーマットのイメージ

```
振込情報   <支払情報>
           ：被仕向銀行名、受取人名、振込金額等
           ：
             <支払明細>
               <EDI情報>
                 <注文明細>
                   <注文番号>1</注文番号>
                   <商品名>おいしい水500ml</商品名>
                   <個数>10</個数><消費税>8%</消費税>
                   <金額>1200</金額><単位>円</単位>
                 </注文明細>
                 <注文明細>
                   <注文番号>2</注文番号><商品名>単4電池</商品名>
                   <個数>4</個数><消費税>8%</消費税>
                   <金額>324</金額><単位>円</単位>
                 </注文明細>
               </EDI情報>
             </支払明細>
振込情報     ：
           </支払情報>
```

EDI情報（可変長）

XMLフォーマットの特徴・効果

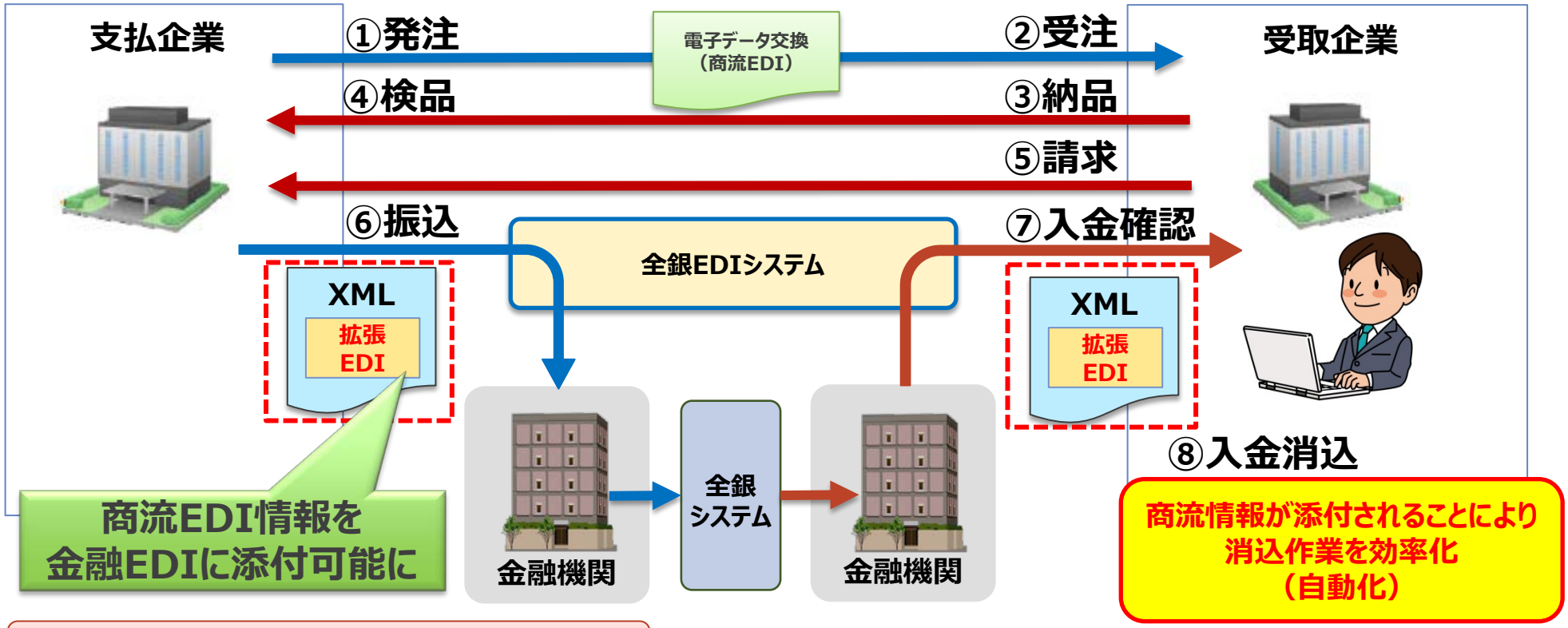
XMLフォーマットは、データ項目の内容・長さやデータ間の関係を自由に設定・変更できるなど、柔軟性・拡張性を備えている。
左記の例では、開始タグ<商品名>および終了タグ</商品名>により、「おいしい水500ml」が商品名として意味付け（マークアップ）されている。

情報量が拡張された金融EDI情報を活用して決済関連事務の合理化などが可能に※なる。

※受取企業側では売掛金の消込作業、支払企業側では振込明細に係る受取企業からの照会対応に係る業務負担の軽減が期待される。

© 2017 JAPANESE BANKERS ASSOCIATION

４-５．全銀EDIシステムを利用した事務の合理化



全銀EDIシステムの目的

既存固定長からＸＭＬ電文に移行することでEDI欄を大幅に拡張し、請求情報等の詳細（拡張EDI）を同時に送信可能とし、受取企業側を中心に決済事務合理化を図る。

© 2017 JAPANESE BANKERS ASSOCIATION

4-6．全銀EDIシステムを利用した入金消込イメージ（1）

取得した
入出金取引明細
＋金融EDI情報

照合

データ区分	照会番号	勘定日	…	入払区分	取引区分	取引金額	…	振込依頼人名	仕向銀行名	仕向支店名	…	請求番号	注文番号	品名コード	金額	
2	00000001	170825	…	1	11	000067427880	…	ﾏﾙﾏﾙｻﾝｷﾞﾖｳ(カ	ﾐｶﾝﾊﾞﾝｸ	ﾊﾟｷﾗ	…	INV-17AUG-0001	ORD-17JUL-10001	3100-0444	¥162,000	…
												INV-17AUG-0001	ORD-17JUL-10002	1001-0001	¥3,455,827	…
												INV-17AUG-0001	ORD-17JUL-10003	5000-9900	¥492,480	…
												INV-17AUG-0001	ORD-17JUL-20004	3100-0444	¥162,000	…
												INV-17AUG-0001	ORD-17JUL-20005	1001-0001	¥13,823,309	…
												INV-17AUG-0001	ORD-17JUL-20006	5000-9900	¥492,480	…
												INV-17AUG-0001	ORD-17JUL-30007	3100-0444	¥162,000	…
												INV-17AUG-0001	ORD-17JUL-30008	1001-0001	¥1,727,914	…
												INV-17AUG-0001	ORD-17JUL-30009	5000-9900	¥492,480	…
2	00000002	170825	…	1	11	000021431950	…	ﾏﾙﾏﾙｸﾞﾙｰﾌﾟ(カ	ｽｲｶﾊﾞﾝｸ	ｱｶﾞﾍﾞ	…	INV-17AUG-0002	ORD-17JUL-40010	3100-0444	¥162,000	…
												INV-17AUG-0002	ORD-17JUL-40011	1001-0001	¥51,837,408	…
												INV-17AUG-0002	ORD-17JUL-40012	5000-9999	¥2,276,640	…
													JUL-50013	3100-0444	¥162,000	…
													JUL-50014	1001-0001	¥12,959,352	…
													JUL-50015	5000-9900	¥492,480	…

◎ **売掛債権の明細単位に入金消込が可能！**

売掛債権一覧

取引先名：　　検収日：　　～　　検索

<< ページ: 1 >>　　1～15 / 15件中

取引先	検収日	請求日	請求番号	注文番号	品名コード	品目名	単価	数量	金額
○○産業株式会社	2017/7/3	2017/8/1	INV-17AUG-0001	ORD-17JUL-10001	3100-0444	1LAS	¥15,000	10	¥162,000
○○産業株式会社	2017/7/3	2017/8/1	INV-17AUG-0001	ORD-17JUL-10002	1001-0001	B6ZKSD-1	¥399,980	8	¥3,455,827
○○産業株式会社	2017/7/3	2017/8/1	INV-17AUG-0001	ORD-17JUL-10003	5000-9900	CTGPP	¥4,560	100	¥492,480
○○産業株式会社	2017/7/10	2017/8/1	INV-17AUG-0001	ORD-17JUL-20004	3100-0444	1LAS	¥15,000	10	¥162,000
○○産業株式会社	2017/7/10	2017/8/1	INV-17AUG-0001	ORD-17JUL-20005	1001-0001	B6ZKSD-1	¥399,980	32	¥13,823,309
○○産業株式会社	2017/7/10	2017/8/1	INV-17AUG-0001	ORD-17JUL-20006	5000-9900	CTGPP	¥4,560	100	¥492,480
○○産業株式会社	[illegible]	[illegible]	[illegible]	[illegible]	[illegible]	[illegible]	[illegible]	10	¥162,000
○○産業株式会社	[illegible]	[illegible]	[illegible]	[illegible]	[illegible]	[illegible]	[illegible]	4	¥1,727,914
○○産業株式会社	[illegible]	[illegible]	[illegible]	[illegible]	[illegible]	[illegible]	[illegible]	100	¥492,480
○○産業株式会社	[illegible]	[illegible]	[illegible]	[illegible]	[illegible]	[illegible]	[illegible]	10	¥162,000
○○産業株式会社	[illegible]	[illegible]	[illegible]	[illegible]	[illegible]	[illegible]	[illegible]	120	¥51,837,408
○○産業株式会社	[illegible]	[illegible]	[illegible]	[illegible]	[illegible]	[illegible]	[illegible]	2	¥2,276,640
○○産業株式会社	2017/7/31	2017/8/1	INV-17AUG-0002	ORD-17JUL-50013	3100-0444	1LAS	¥15,000	10	¥162,000
○○産業株式会社	2017/7/31	2017/8/1	INV-17AUG-0002	ORD-17JUL-50014	1001-0001	B6ZKSD-1	¥399,980	30	¥12,959,352
○○産業株式会社	2017/7/31	2017/8/1	INV-17AUG-0002	ORD-17JUL-50015	5000-9900	CTGPP	¥4,560	100	¥492,480

<< ページ: 1 >>　　1～15 / 15件中

各企業間にて、入金消込に必要となる項目を交換することにより、入金消込率を格段に向上し自動化が図れる。

© 2017 JAPANESE BANKERS ASSOCIATION

4-6．全銀EDIシステムを利用した入金消込イメージ（2）

（本資料はイメージです。画面や操作は会計ソフトウェア等により異なります。）

①取得した入手金取引明細を読み込み

②自動入金消込を実施

入金管理

ＦＢデータ取込 ： C:¥Users¥･･････････ 参照

自動入金消込 ･･･ ･･･

<< ページ: 1 >>

取引先	請求日	入金期日	請求番号	単価	数量	売上金額	入金金額	未入金金額	結果
○○産業株式会社	2017/8/1	2017/8/21	INV-17AUG-0001	¥15,000	10	¥162,000	¥162,000	¥0	完了
○○産業株式会社	2017/8/1	2017/8/21	INV-17AUG-0001	¥399,980	8	¥3,455,827	¥3,455,827	¥0	完了
○○産業株式会社	2017/8/1	2017/8/21	INV-17AUG-0001	¥4,560	100	¥492,480	¥492,480	¥0	完了
○○産業株式会社	2017/8/1	2017/8/21	INV-17AUG-0001	¥15,000	10	¥162,000	¥162,000	¥0	完了
○○産業株式会社	2017/8/1	2017/8/21	INV-17AUG-0001	¥399,980	32	¥13,823,309	¥13,823,309	¥0	完了
○○産業株式会社	2017/8/1	2017/8/21	INV-17AUG-0001	¥4,560	100	¥492,480	¥492,480	¥0	完了
○○産業株式会社	2017/8/1	2017/8/21	INV-17AUG-0001	¥15,000	10	¥162,000	¥162,000	¥0	完了
○○産業株式会社	2017/8/1	2017/8/21	INV-17AUG-0001	¥399,980	4	¥1,727,914	¥1,727,914	¥0	完了
○○産業株式会社	2017/8/1	2017/8/21	INV-17AUG-0001	¥4,560	100	¥492,480	¥492,480	¥0	完了
○○産業株式会社	2017/8/1	2017/8/22	INV-17AUG-0002	¥15,000	10	¥162,000	¥162,000	¥0	完了
○○産業株式会社	2017/8/1	2017/8/22	INV-17AUG-0002	¥399,980	120	¥51,837,408	¥51,837,408	¥0	完了
○○産業株式会社	2017/8/1	2017/8/22	INV-17AUG-0002	¥1,054,000	2	¥2,276,640	¥2,276,640	¥0	完了
○○産業株式会社	2017/8/1	2017/8/22	INV-17AUG-0002	¥15,000	10	¥162,000	¥0	¥162,000	未完了
○○産業株式会社	2017/8/1	2017/8/22	INV-17AUG-0002	¥399,980	30	¥12,959,352	¥0	¥12,959,352	未完了
○○産業株式会社	2017/8/1	2017/8/22	INV-17AUG-0002	¥4,560	100	¥492,480	¥0	¥492,480	未完了

<< ページ: 1 >>　　1～15 / 15件中

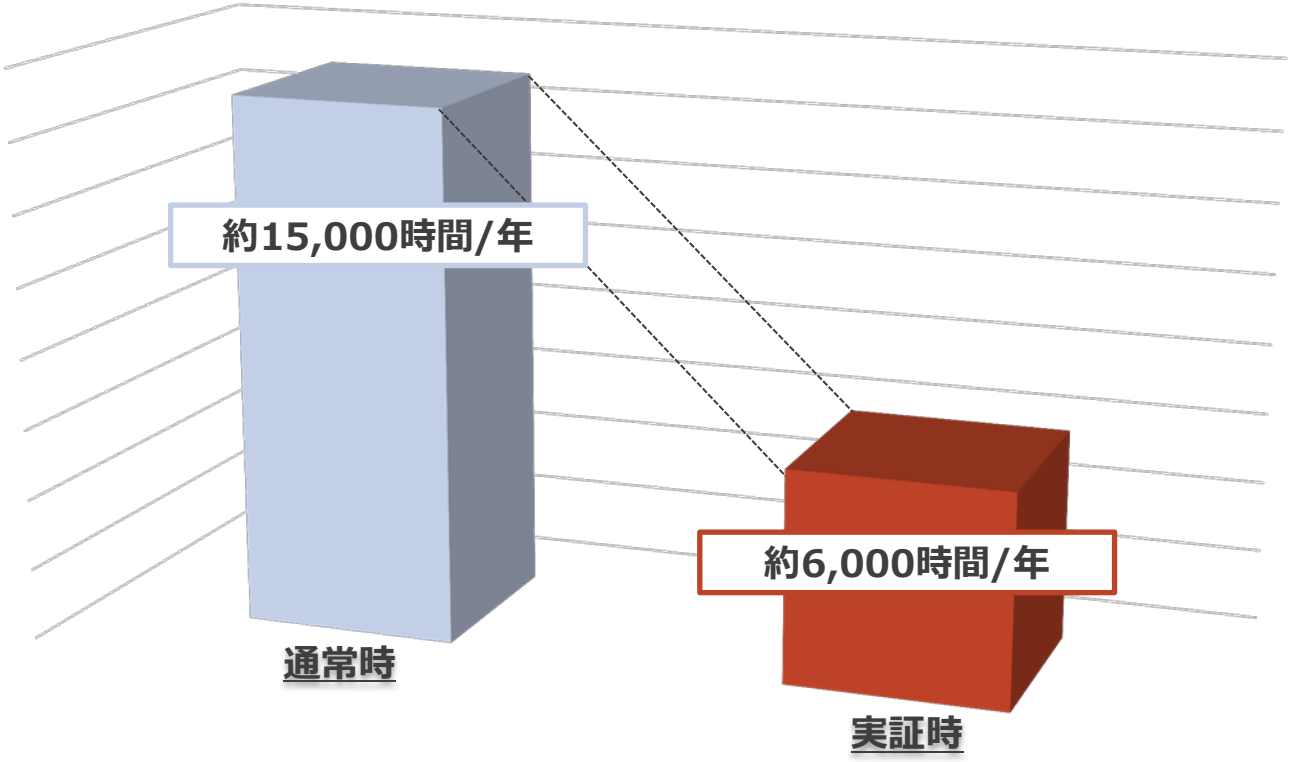
③自動入金消込結果を表示

© 2017 JAPANESE BANKERS ASSOCIATION

4-7. （参考）期待効果

これまでに、流通業界や自動車部品業界において実証実験が行われており、
受取企業側において**年間約400時間（中堅製造業）から約9,000時間（大手小売業）の決済関連事務の合理化効果**が確認されています。

決済関連業務（入金消込業務）の検証結果（大手小売業のケース）



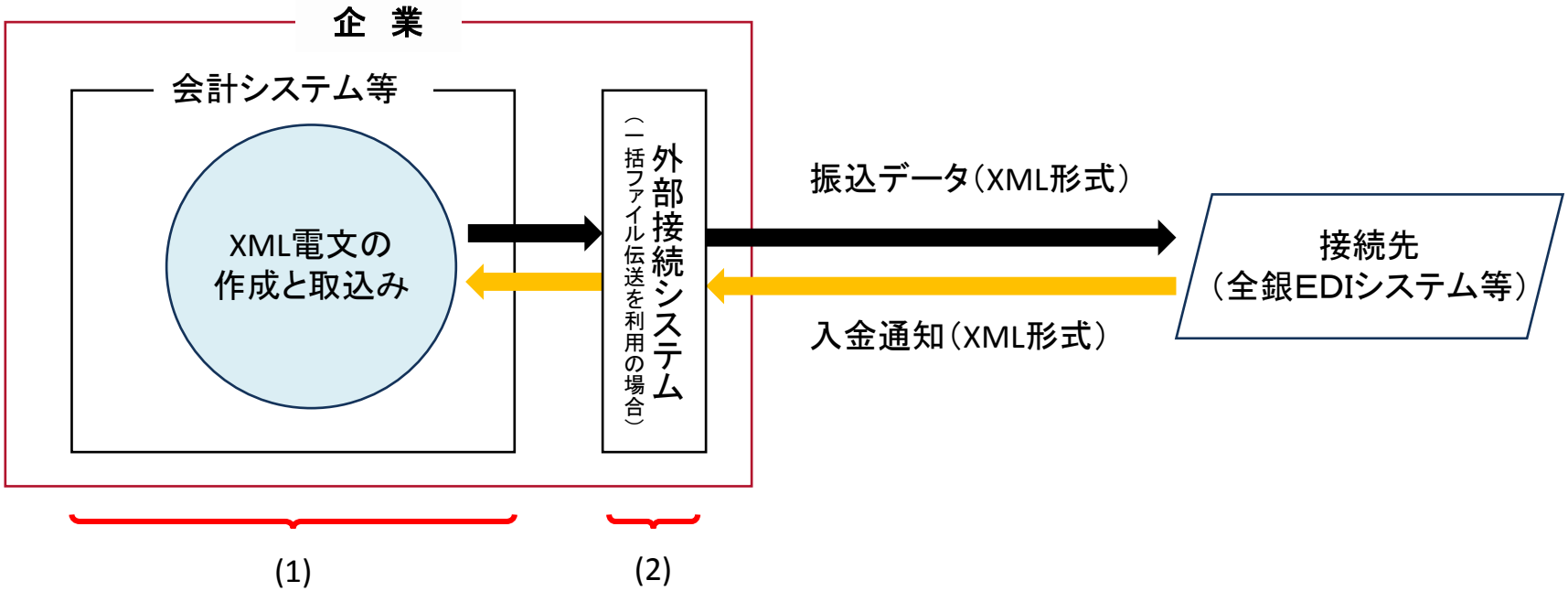
© 2017 JAPANESE BANKERS ASSOCIATION

4-8. 拡張された金融EDIの導入に必要なこと

XML電文への移行時には、各企業において以下の対応が必要となる。

(1)　XML電文を利用（作成・取込）するための会計システム等のソフトウェアのバージョンアップや入替え、等

(2)　一括ファイル伝送を利用する場合は、XML電文を送受信するための回線準備、通信ソフトウェアの設定変更、入替え（含む接続テスト）、等

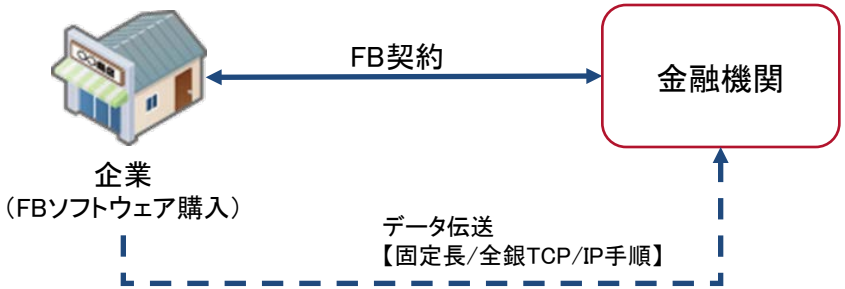


© 2017 JAPANESE BANKERS ASSOCIATION

【参考】全銀EDIシステム稼動後の接続形態イメージ（1/3）

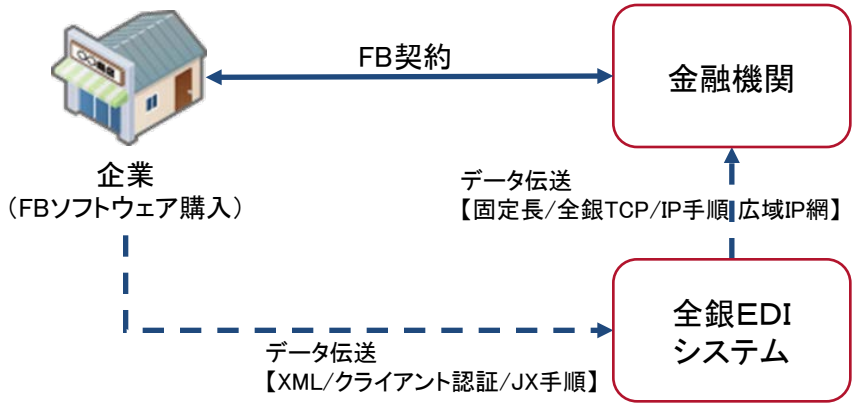
(1) FB機能が実装されたソフトウェアを導入（ソフトウェアは別途購入）

現行



全銀EDIシステム稼動後

［総合振込・振込入金通知・入出金取引明細の3業務］

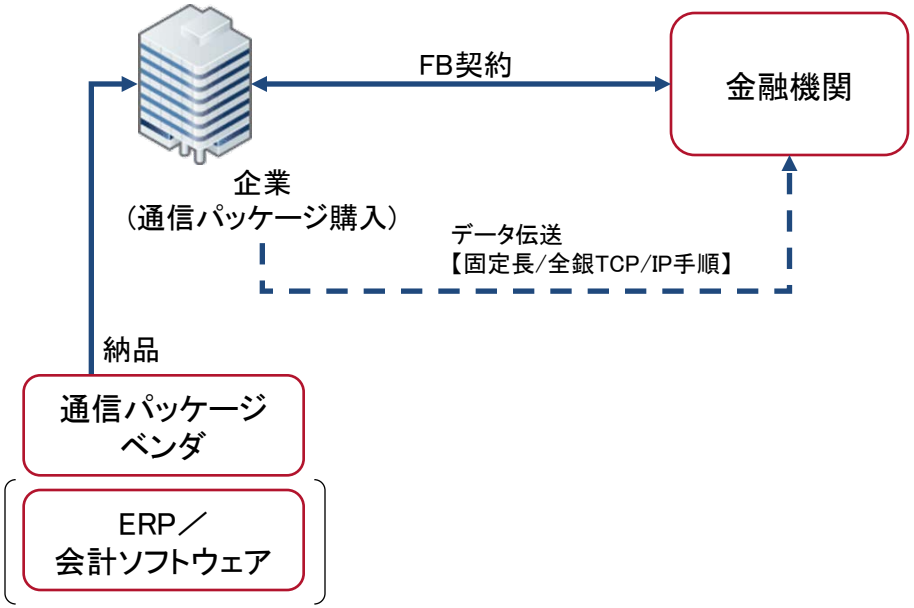


© 2017 JAPANESE BANKERS ASSOCIATION

【参考】全銀EDIシステム稼動後の接続形態イメージ（2/3）

(2) 自社システムでFB機能を実装（通信パッケージは別途購入）

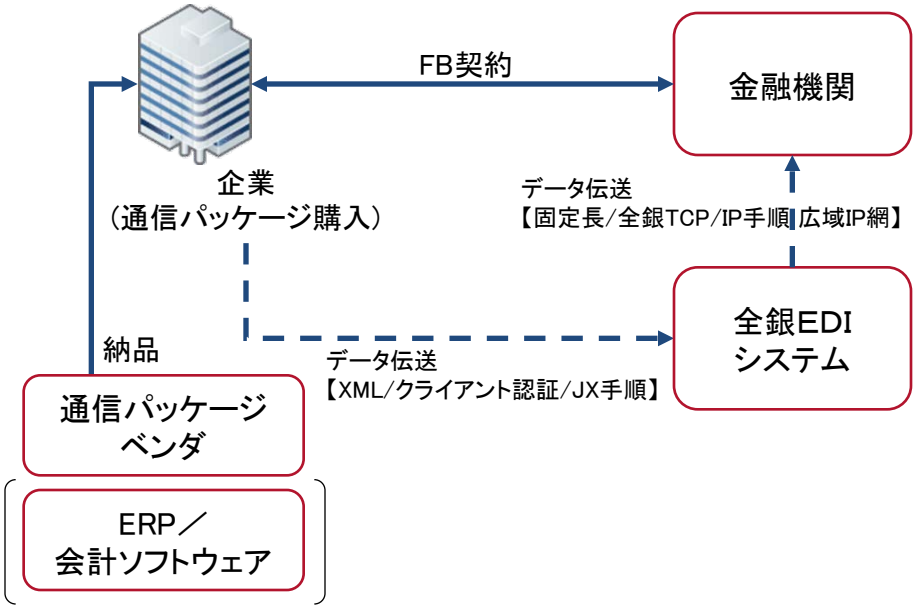
現行



※ERP製品、会計ソフトウェアが金融機関との通信機能を保有するケースあり。

全銀EDIシステム稼動後

［総合振込・振込入金通知・入出金取引明細の3業務］

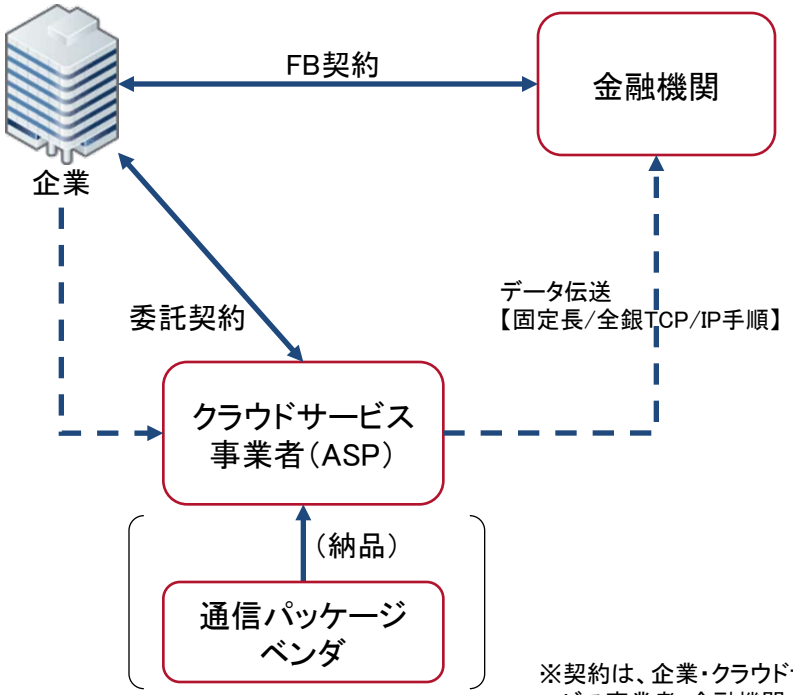


© 2017 JAPANESE BANKERS ASSOCIATION

【参考】全銀EDIシステム稼動後の接続形態イメージ（3/3）

(3) クラウドサービス事業者にデータ伝送を委託

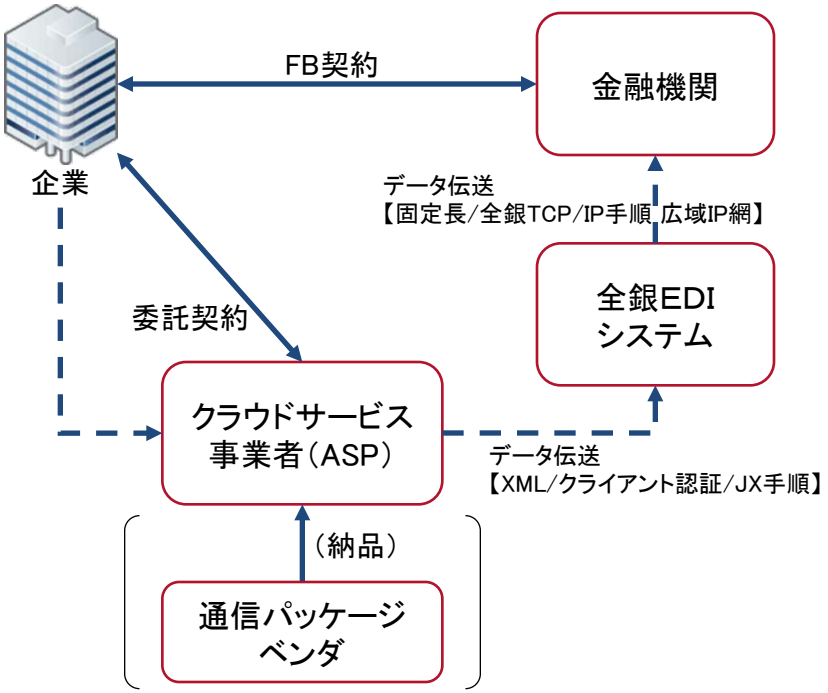
現行



※契約は、企業・クラウドサービス事業者・金融機関の三者間契約のケースあり。

全銀EDIシステム稼動後

［総合振込・振込入金通知・入出金取引明細の3業務］



© 2017 JAPANESE BANKERS ASSOCIATION

5. 金融EDI活用のさらなる可能性

© 2017 JAPANESE BANKERS ASSOCIATION

5-1．金融EDI情報を活用して新たなビジネスを

【再掲】

管理上利用する項目
業界区分
データ区分

最低限必要な項目
支払通知番号 ※1
支払通知発行日 ※1
請求書番号 ※2
支払人企業法人コード ※3

IT化推進による事務合理化に必要と思われる項目
受取人企業法人コード
請求先企業名
請求先企業法人コード
支払金額（明細）
税額
税区分

利用可能とすべき項目	
支払番号	製品名
受取人企業連絡先電話番号	支払内容
支払人企業連絡先電話番号	契約名
請求先連絡担当者	締日
請求先連絡先部門	入金予定日
請求先電話番号	納品伝票番号
行番号	請求書発行日
発注番号	金額相殺理由コード
受注番号	相殺金額
単価	受取人企業名 ※4
数量	支払人企業名 ※4
納入番号	支払合計金額 ※4
納入日時	支払日時 ※4
製品コード	

：金融EDI情報の登録例

新たなサービス！

～可能性～
登録される情報項目が多くなれば、消込処理以外にも様々な利用シーンへの活用も！

～課題～
例えば、業界ごとに登録情報が標準化されなければ、決済事務の効率化が遠ざかる・・・

© 2017 JAPANESE BANKERS ASSOCIATION

5 -2. 金融機関による新たなソリューションの提供

全銀EDIシステムに格納される金融EDI情報の活用により、金融機関による新たなソリューションの提供やイノベーションの推進が期待されます。

想定事例 1	想定事例 2	想定事例 3
企業の取引情報の把握によるコンサルタント機能や提案活動	受発注動向の集計によるビジネスの将来予測や業界動向の分析	金融EDI情報を活用した小口融資等の新たなソリューションの提供

© 2017 JAPANESE BANKERS ASSOCIATION

5-3. 全銀EDIシステムを活用した電子領収書

全銀EDIシステムの活用による電子領収書の発行スキームについても検討しています。 ※ 導入時期は未定です。

全銀EDIシステムが受取企業に提供する振込入金通知および入出金取引明細は、企業間における取引情報の授受を電磁的に行うことになるため、電子帳簿保存法第2条第6号の電子取引に該当し、同法第10条に対応したデータ保存を行うことにより、電子領収書として取り扱うことを検討。

電子領収書のメリット

支払企業

- 領収書の保管コストの削減
- 領収書の検索/閲覧作業の容易化

受取企業

- 印紙税の削減
- 領収書作成・郵送に係るコストの削減

© 2017 JAPANESE BANKERS ASSOCIATION

6. おわりに
～XML電文への一斉移行に向けて～

© 2017 JAPANESE BANKERS ASSOCIATION

６．おわりに　～ＸＭＬ電文への移行に向けて～

◆ 全銀EDIシステムは、平成30年（2018年）12月の稼動を目指して、開発中。

－平成29年4月、システム要件定義を決定。

－平成29年5月、金融機関に対してXML新システムの基本設計書に関する説明会を開催。

－平成29年7月、金融機関およびクラウドサービス事業者、ソフトウェアベンダ等に対して API仕様書説明会を開催。

－平成29年10月・11月、企業向け説明会を開催（10/24 東京会場、11/6 大阪会場）。

◆ 全銀EDIシステムの構築がゴールではなく、全銀EDIシステム稼動後の拡充された金融EDI情報の活用によって経理・決済業務の高度化、効率化が図れること等をアピールし、そのメリットを実感してもらうことが重要である。

◆ そのため、企業に対して、XML電文への移行を促し、業務効率化と企業の生産性向上に向けた取組みであることを理解いただき、官と民、金融界と産業界が連携して、金融EDIの利活用について周知・広報を行っていきたい。

◆ そして、未来投資戦略2017等を踏まえて、2020年を目途とするXML電文の一斉移行に向けて、幅広い関係者が相互に協働していくよう、全銀協としてもしっかりと取り組んでいくこととしたい。

© 2017 JAPANESE BANKERS ASSOCIATION

一般社団法人
全国銀行協会

【本件照会先】
事務・決済システム部
TEL　　:03-6262-6672
メール　:jimu@zenginkyo.or.jp